

令和8年度(2026年度)前期・通年

授業公開講座 受講生募集

募集期間

2026.
2.2_{mon} ~ 2.20_{fri}

募集要項

【募集期間】2026年2月2日（月）～2月20日（金）

※インターネットよりお申込みの場合：2月20日12時締切
※郵送または持参にてお申込みの場合：2月20日12時必着

講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要（8ページ～）を必ずお読みいただき、お申し込みください。

受講資格

満18歳以上の方（2026年4月1日時点）

開講講座・日時

「講座一覧」（6ページ～）を参照してください。令和8年度（2026年度）前期は2026年8月3日（月）まで、通年は2027年2月1日（月）まで授業が行われます。（最終授業日は、各講座の曜日で異なります。）カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしておりませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

募集定員

講座毎に定員があるので、「講座一覧」（6ページ～）をご確認ください。

申込方法

申込方法について（4ページ）をご確認ください。

受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」（6ページ～）および「講座概要」（8ページ～）に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申し込みください。

「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

なお、選考方法が「理由書」の講座を希望し、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、「理由書」を添付して返信してください。（Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください）「理由書」の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書（17ページ）に記入してください。枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付してください。

結果の通知

3月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

受講料（1講座につき）

	週1回	週2回
前期	5,000円	10,000円
通年	10,000円	20,000円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。お支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

受講手続・説明会

- ・3月25日（水）①10:30 ②14:30
- ・3月26日（木）①10:30 ②14:30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

受講にあたっての注意事項

1. 講座について

公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。

- ・講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・講座中は教員の指示に従ってください。
- ・講座時間外での質問等には応じられません。
- ・受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

2. 受講について

- ・お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・同伴や見学は、お断りします。
- ・施設内は禁煙です。
- ・貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

※ご注意【オンラインツールの利用について】

授業公開講座は対面の講座ではありますが、お申込みいただく講座によっては、ご自身のパソコンやスマートフォンを使い、オンラインツールを利用して受講いただく場合があります。講座概要（8ページ～）に利用するオンラインツールを記載していますので、ご自身で基本的な操作ができるご確認の上、お申込みください。なお、受講中の操作方法についてのサポート対応、機器の貸出はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

〔利用予定のオンラインツール例〕

Eメール：ご自身が普段使用しておられるEメールアドレスを利用し、講師と直接やり取りしていただきます。

Microsoft Teams：本学が発行するMicrosoftアカウントで、動画視聴・資料閲覧、課題提出等を行うことができるアプリです。二要素認証を行うため、電話番号が必要です。

利用できる端末は、Windows11以降、macOS Sonoma 14.8以降となりますので、ご自身でお使いの端末をご確認ください。

3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、Web サイト「地域ラプラトリー」→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

【熊本県立大学授業公開講座・受講料返金に関するポリシー】

1 大学の都合により対面による講座が中止となった場合に限り、未実施分の受講料（大学の定める返金基

準に基づく金額）を返金します。なお講師の変更は、当該講座が継続する限り返金の対象外です。

2 受講者都合による途中解約は返金できません。

7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出してください。その損害を弁償していただくことがあります。

9. 個人情報について

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方や、片道 5 km 以上の場合は、駐車許可をしていきます。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

申込方法

募集期間内にインターネットもしくは郵送・持参にてお申込みください。

インターネットよりお申込みの場合

※令和8年(2026年)2月20日(金)12時締切

■**申込方法**：Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→お知らせ
→授業公開講座受講生募集ページ

<https://puk-loveratory.com/news/25732/>



■**申込確認**：お申込み後、地域・研究連携センター（renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp）からEメールを返信します。

お申込みから1週間を過ぎてもEメールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

郵送または持参にてお申込みの場合

※令和8年(2026年)2月20日(金)12時必着

■**申込方法**：パンフレット添付の申込書(17ページ)に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはご持参ください。受講申込み1講座につき申込書1枚となります。

複数講座をお申込みの場合は、添付の申込書をコピー、もしくはWebサイト「地域ラブラトリー」の募集ページから申込書をダウンロードしてお使いください。



〒862-8502（専用郵便番号のため、住所記載不要）
熊本市東区月出3-1-100
熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

■**申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のメールまたはお電話をいたします。

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター
(学内図15番 グローカル棟1階)

TEL: 096-321-6612

E-mail: renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

平日(月～金) 9:00～12:20
土日祝を除く 13:20～16:00

令和8年度授業公開講座時間割

※時間割の変更があるので、Web「地域ラブレトリー」→ MENU → 「講座・学び」より確認してください

曜日	月	火	水	木	金							
時限	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員
1時限 (8:40 ~ 10:10)		建築環境工学 I 江崎 一朗	辻原 万規彦 社会倫理 34	29	社会倫理 中国語入門 Ba【週2回】 中国語入門 B-b【週2回】 韓国語入門 A I・II-c【通年】	岡村 真寿美 矢野 初美 33	5	中国語入門 Ba【週2回】 中国語入門 B-b【週2回】 韓国語入門 A I・II-b【通年】	山田 俊 岡村 真寿美 矢野 初美 33	5	中国語入門 Ba【週2回】 中国語入門 B-b【週2回】 韓国語入門 A I・II-b【通年】	山田 俊 岡村 真寿美 矢野 初美 33
2時限 (10:20 ~ 11:50)	8	日本語史 I 経営分析論 米谷 隆史 望月 信吾		26	食資源開発学 松崎 弘美	15	文部学基礎論 大気環境学 31	中国語発展 I b ドイツ語発展 I・II【通年】 日中比較文学 I・II【通年】	鈴木 元 張 代洲 井田 貴志 36	7	中国語発展 I b ドイツ語発展 I・II【通年】 日中比較文学 I・II【通年】	岡村 真寿美 吉田 孝 項 青
3時限 (12:50 ~ 14:20)	18	住まいと地域環境 柴田 健(他)	25	食品分析学 白土 英樹	3	English for Global Business III 現代の文学 13	英語 V (d) 日本語教育教材研究 10	李 世恩 道本 ゆう子 高橋 浩伸 井田 貴志	李 世恩 道本 ゆう子 高橋 浩伸 井田 貴志	1	英語V(c)	李 世恩
4時限 (14:30 ~ 16:00)	11	近代文化研究 行政学 I 五島 慶一 井寺 美穂	20	Intermediate English I b Ewan James GOWAN	4	Junior Seminar B- I 日本語学概論 I 9	16	地域文化研究 II 木崎 康弘	佐藤 雄一郎			
5時限 (16:10 ~ 17:40)	12	英語圈文学講読 I 難波 美和子										

注) 番号は講座一覧講座番号です

令和8年度 授業公開講座一覧（前期）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
英語						
1	英語V(c)	李世恩	4月10日(金)/3時限	若干名	理由書	5,000
2	英語V(d)	李世恩	4月16日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
3	English for Global Business Ⅲ	岡崎紀久子	4月15日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
4	Junior Seminar B-I	萱嶋崇	4月15日(水)/4時限	若干名	抽選	5,000
中国語						
5	中国語入門B-a【週2回】	山田俊	4月10日(金)/1時限 4月16日(木)/1時限	5名まで	理由書	10,000
6	中国語入門B-b【週2回】	岡村真寿美	4月10日(金)/1時限 4月16日(木)/1時限	若干名	理由書	10,000
7	中国語発展Ib	岡村真寿美	4月10日(金)/2時限	若干名	理由書	5,000
日本語						
8	日本語史I	米谷隆史	4月13日(月)/2時限	若干名	理由書	5,000
9	日本語学概論I	小川晋史	4月15日(水)/4時限	若干名	理由書	5,000
10	日本語教育教材研究	道本ゆう子	4月16日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
文学・文化						
11	近代文化研究	五島慶一	4月13日(月)/4時限	若干名	理由書	5,000
12	英語圏文学講読I	難波美和子	4月13日(月)/5時限	3名まで	理由書	5,000
13	現代の文学	難波美和子	4月15日(水)/3時限	3名まで	理由書	5,000
14	近代日本の歩み	大島明秀	4月15日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
15	文献学基礎論	鈴木元	4月16日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
16	地域文化研究II	木崎康弘	4月16日(木)/5時限	若干名	抽選	5,000
環境						
17	地学I	小島知子	4月10日(金)/1時限	若干名	理由書	5,000
18	住まいと地域環境	柴田祐(他)	4月13日(月)/3時限	若干名	理由書	5,000
19	建築環境工学I	辻原万規彦	4月14日(火)/1時限	若干名	理由書	5,000
20	Intermediate English Ib	Evan James GOWAN	4月14日(火)/4時限	5名まで	抽選	5,000
21	農山村域計画学	柴田祐	4月15日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
22	Science English I	モロ・ジェフリー・スチュワート	4月15日(水)/3時限	3名まで	抽選	5,000
23	大気環境学	張代洲	4月16日(木)/2時限	5名まで	抽選	5,000

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
建築						
24	住空間計画学	高橋 浩伸	4月16日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
食						
25	食品分析学	白土 英樹	4月14日(火)/3時限	若干名	理由書	5,000
26	食資源開発学	松崎 弘美	4月15日(水)/2時限	5名まで	抽選	5,000
公共						
27	憲法I	佐藤 雄一郎	4月10日(金)/4時限	10名程度	理由書	5,000
28	行政学I	井寺 美穂	4月13日(月)/4時限	若干名	抽選	5,000
29	社会倫理	江崎 一朗	4月15日(水)/1時限	若干名	理由書	5,000
経済・ビジネス						
30	経営分析論	望月 信幸	4月13日(月)/2時限	若干名	理由書	5,000
31	ミクロ経済学	井田 貴志	4月16日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
32	公共経済学	井田 貴志	4月16日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000

令和8年度 授業公開講座一覧（通年）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
韓国語						
33	韓国語入門 A I・II-b	矢野 初美	4月10日(金)/1時限	若干名	理由書	10,000
34	韓国語入門 A I・II-c	矢野 初美	4月16日(木)/1時限	若干名	理由書	10,000
ドイツ語						
35	ドイツ語発展 I・II	吉田 李佳	4月10日(金)/2時限	若干名	理由書	10,000
文学						
36	日中比較文学 I・II	項 青	4月10日(金)/2時限	若干名	理由書	10,000

講座概要（前期）

1 英語V (c)

前期

【講師】	李 世恩
【日時】	4月10日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養
TOEICリーディング対策講義	

【テキストについて】

使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

【注意事項】

講座番号：2『英語V (d)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

3 English for Global Business III

前期

【講師】	岡崎 紀久子
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 英検2級程度 / 一般教養

TOEIC Listening & Reading Testのテスト形式に倣った演習問題を解くことによって、ビジネス社会における英語を用いたコミュニケーションの基礎となる語彙・文法力を培います。また、ビジネスの現場で必要とされる情報収集力の育成に役立つ解法のストラテジーについても学びます。TOEIC700程度を到達目標としますので、**英検2級程度の英語力が必要です。**

【テキストについて】

『Advance Your Practical Skills for The TOEIC L&R Test』（鈴木淳ほか、松柏社/1,900円+税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

2 英語V (d)

前期

【講師】	李 世恩
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 中級 / 一般教養

TOEICリーディング対策講義

【テキストについて】

使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

【注意事項】

講座番号：1『英語V (c)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

4 Junior Seminar B-I

前期

【講師】	萱嶋 崇
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。

【テキストについて】

『英語の主要構文』（中村捷、金子義明【編】、研究社/2,800円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

抽選により決定

5 中国語入門 B-a

前期
週2回

【講師】 山田 俊

【日時】 4月10日～・毎週木・金曜日（週2回）
1時限目（8:40～10:10）

【募集人数】 5名まで 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級 / 一般教養

中国語の発音記号（ピンイン）の習得からはじめて、基本的な文法・語彙を学ぶ。

【テキストについて】

『体系的に学ぼう 初級中国語 改訂版』（丸尾誠【編】、金星堂 / 2,400円+税）

あらかじめ上記テキスト入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

6 中国語入門 B-b

前期
週2回

【講師】 岡村 真寿美

【日時】 4月10日～・毎週木・金曜日（週2回）
1時限目（8:40～10:10）

【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級

テキストを使用し、中国語の基礎を学びます。初めて中国語を学ぶ人を対象に、発音・表記・基本的な文法・簡単な会話などについて学びます。

【テキストについて】

『初級中国語 この1冊4技能習得を目指して 改訂版』（丸尾誠 / 勝川裕子 / 李軒倫著、金星堂、2,200円+税）

あらかじめ上記テキスト入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

7 中国語発展 I b

前期

【講師】 岡村 真寿美

【日時】 4月10日～・毎週金曜日
2時限目（10:20～11:50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 準中級

1年程度中国語を学んだことのある人を対象とします。学習済みの基本的な文法をもとに、より高度な中国語運用能力の獲得を目指し、文法・作文・基礎的な会話の学習をします。

【テキストについて】

『さらなる中国語の世界 大学二年生のレベルアップ中国語』（劉国彬 / 清水洋子著、金星堂、2,400円+税）

あらかじめ上記テキスト入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

8 日本語史 I

前期

【講師】 米谷 隆史

【日時】 4月13日～・毎週月曜日
2時限目（10:20～11:50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本語の語彙の歴史を上代以降の文献資料から考えていきます。個々の語の意味や用法ではなく、その総体としての語彙の歴史とそれを記述するための方策や問題点を学ぶことを重視します。扱うテーマは次のようなものです。

- ①語種をめぐる諸問題
- ②和語の語形と語構成
- ③文体と語彙
- ④外国資料に見る日本語

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』（本田章義【編】、世界思想社 / 2,900円+税）

あらかじめ上記テキスト入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

9 日本語学概論 I 前期

【講師】	小川 晋史
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 4時限目（14:30～16:00）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

日本語学（言語学）という学問には、言語を分析するためのどのような視点や道具があるのか、基礎的事項を講じる。これから日本語学を学んでいく学生にとって最初の一歩になるような内容である。

【テキストについて】

『図解日本語 第2版』（沖森卓也ほか、三省堂/2,000円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

10 日本語教育教材研究 前期

【講師】	道本 ゆう子
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

日本語教育教材の分析方法について学びます。授業では様々な日本語教育教材を取り上げ、その分析を通して、学習者のニーズに適した教材について考えます。また、実際に日本語教育で使用されている教材を選定し、その分析を行い、授業内でプレゼンテーションを準備し、発表します。

【テキストについて】

『日本語を教えるための教材研究入門』（深澤のぞみ・本田弘之／くろしお出版/1,800円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

11 近代文化研究 前期

【講師】	五島 慶一
【日時】	4月13日～・毎週月曜日 4時限目（14:30～16:00）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

後期開講科目である「近代文学史」の続編です。そこで学んだ知識を前提に、それ以後の時代（大正～昭和期）や日本近代文学に関する、より専門的な事項を取り扱います。そのため、応募は過去に本授業担当者の「近代文学史」を受講したことを条件とします。初めての方は、まずそちらを受講してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

12 英語圏文学講読 I 前期

【講師】	難波 美和子
【日時】	4月13日～・毎週月曜日 5時限目（16:10～17:40）
【募集人数】	3名まで
【受講料】	5,000円

【講義内容】 上級／専門

英語で書かれた文学は多様に展開している。英語を公用語とする国々で文学言語として表現されるほか、国境を越えて活動する作家たちも多く、〈国名+文学〉の枠組みではとらえきれない。英語を第二第三の言語として獲得した作家たちも多い。現代の作家たちは国境のみならず言語という枠組みも食い破り、それぞれの表現を模索している。多様化し、拡大する英語使用者とともに、英語による文学が何を産み出しているのかを、現代南アジアの英語文学を例として考える。

「英語で書かれた文学」の多様性と歴史的背景を理解する。英語のテキストを精読し、表現を理解し、文化的背景を考えながら内容を味わう。

【オンラインツールについて】

Google drive を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

13 現代の文学 前期

【講師】	難波 美和子
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	3名まで
【受講料】	5,000円

【講義内容】一般教養

読書は娯楽である。なかでも小説を読むことは様々な人生を生き、見知らぬ土地を訪れる事でもある。歴史や社会、科学などさまざまな領域についての書物は、知る楽しみを与えてくれる。しかし、楽しむためには多少の訓練は欠かせない。ゲームを楽しむためにはルールを知り、勝ち進むための技術の熟練が必要なように、読むことの自由と快樂を獲得するためには、ある程度の量と多様性を経験しなければならない。作品を丁寧に読むとともに、想像力を働かせることが読書を楽しむためには重要だ。読書を楽しむためのアプローチには様々なものがあるが、この授業では、短編小説を読み、ほかの履修者と議論をしたり、面白さについて考えたりすることから、読書をより楽しむ方法を身につける。

配布された短編小説を読み、授業前にコメントを提出すること。

【オンラインツールについて】

Google driveを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることもあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

14 近代日本の歩み 前期

【講師】	大島 明秀
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】初級／一般教養

日本がいわゆる江戸期の体制から脱却し、日本型オリエンタリズムを獲得しながら「脱亜入欧」を目指した近代（明治以降）の歩みの理解を目標とします。授業で重視するのは、その時代の感覚からその時代を理解する姿勢です。そのため各時代の史資料（原文）を用います。なお、日中の歴史資料だけでなく、欧文資料（ラテン語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語など）も扱いますが、語学力は必要ありません。

15 文献学基礎論 前期

【講師】	鈴木 元
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 2時限目（10:20～11:50）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】語学系講座外／専門

「文学」の鑑賞ではなく、古典文学を研究する上で必要な知識・前提が、講義テーマです。文献資料（文字資料）の基礎知識に始まり、それらを使いこなすための文献へのアプローチ方法、そして一部、近代文学に関わる原稿資料の問題をお話します。なお、昔の「くずし字」の解読練習も含みます。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

16 地域文化研究Ⅱ 前期

【講師】	木崎 康弘
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 5時限目（16:10～17:40）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】一般教養

熊本の考古学研究の成果を基に、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代（奈良時代、平安時代）の流れの中で起きた、それぞれの特徴的な歴史事象について、日本列島的な視点、東アジア的視点を踏まえて、説明する。

【選考方法】

抽選により決定

講座概要（前期）

17 地学 I

前期

【講師】	小島 知子
【日時】	4月10日～・毎週金曜日 1時限目（8:40～10:10）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 高校理科修得程度

地球は岩石圈、気圏、水圏、生物圏といった構成要素からなる「システム」であり、地球上で起こる諸現象は、それら構成要素間の相互作用の結果と言える。地学 I では、主に岩石圏の物質、物性、現象について解説する。

【テキストについて】

『視覚でとらえるフォトサイエンス 地学図録』（数研出版編集部【編】、数研出版 /930円+税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

19 建築環境工学 I

前期

【講師】	辻原 万規彦
【日時】	4月14日～・毎週火曜日 1時限目（8:40～10:10）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 初級 / 専門

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方を学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定ですので、**関数電卓が必要**です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境（第4版第2刷 2024年3月発行）』（今村仁美・田中美都、学芸出版社 /2,800円+税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

18 住まいと地域環境

前期

【講師】	柴田、高橋、栗原、李
【日時】	4月13日～・毎週月曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 初級 / 一般教養

現代における住まいと地域環境の基本的問題を正しく理解し、実例を紹介しながら、居住環境創造に役立つ要点を多面的に講義し、住まいと地域環境について考えます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

20 Intermediate English I b

前期

【講師】	Evan James GOWAN
【日時】	4月14日～・毎週火曜日 4時限目（14:30～16:00）
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円

【講義内容】 初級 / 一般教養

この授業は英語で行われ、グループワークも含まれるため、授業への出席は必須です。気候変動とそれが日本に及ぼす影響に関するトピックについて学びます。

(This class is conducted in English, and involves groupwork activities, so attendance in class is mandatory. We will work on topics related to climate change and how it affects Japan.)

【選考方法】

抽選により決定

21 農山村域計画学 前期

【講師】	柴田 祐
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

22 Science English I 前期

【講師】	モロー ジェフリー スチュワート
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	3名まで
【受講料】	5,000円

【講義内容】 中級／専門

簡単な科学のトピックを英語で学びます。

【テキストについて】

『The Environment Project』(Jeff Morrow、Perceptia Press/2,700円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

抽選により決定

23 大気環境学 前期

【講師】	張 代洲
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 2時限目（10:20～11:50）
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円

【講義内容】 中級／専門

気象学、大気汚染および気候変動について、基礎知識から最新情報まで幅広く概説します。

【選考方法】

抽選により決定

24 住空間計画学 前期

【講師】	高橋 浩伸
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

ここで学ぶ住空間計画学は、我が国における住空間の変遷を縄文・弥生期の古代より現代までを概観し、その上で現代に最も影響を与えていたであろう、先の大戦後の1950年代～2010年代までの名作住宅を検証し、我が国における住空間の特徴・様相を把握する。そして、これらの知識を基に、住空間創造における理念や考え方、そして具体的なデザイン手法を学ぶ。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

講座概要（前期）

25 食品分析学

前期

【講師】白土 英樹

【日時】4月14日～・毎週火曜日
3時限目（12:50～14:20）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】中級／専門

各種食品成分の分析において重要な、試料調製法や一般成分分析法について解説する。さらに、ガスクロマトグラフィーなどの分離分析手法についても概説する。

【テキストについて】

『食品分析学－機器分析から応用まで－改訂版』（松井利郎・松本清／共編、培風館／3,200円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

27 憲法Ⅰ

前期

【講師】佐藤 雄一郎

【日時】4月10日～・毎週金曜日
4時限目（14:30～16:00）

【募集人数】10名程度 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

日本国憲法をはじめとする法律は、条文を読んだだけでは、その意味を正確に理解することはできず、最終的に法律の意味を確定させているのは、最高裁判所が出す判決です。よって、本講義では、最高裁判例を基にして、日本国憲法が保障する基本的人権の意味を正確に理解してもらうことを目的としています。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

26 食資源開発学

前期

【講師】松崎 弘美

【日時】4月15日～・毎週水曜日
2時限目（10:20～11:50）

【募集人数】5名まで 【受講料】5,000円

【講義内容】初級／専門

食品は単に栄養素を供給するだけではなく、最近は保健機能（健康機能）が求められます。本講義では、健康を支える新しい食資源、健康を促進し保健機能を持つ新規機能性物質（特定保健用食品・機能性表示食品）、環境にやさしい農業生産のあり方、新しいバイオ技術（遺伝子組換え、細胞融合、ゲノム編集など）について紹介・説明・解説します。

【選考方法】

抽選により決定

28 行政学Ⅰ

前期

【講師】井寺 美穂

【日時】4月13日～・毎週月曜日
4時限目（14:30～16:00）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

現代社会において行政が果たすべき役割は多様化し、多くの解決すべき課題を抱えています。それらの様々な行政課題を解決するために採用された行政システム、並びにその運用に携わる公務員集団の役割や行動を研究する学問が行政学です。

本科目では、学問領域としての「行政学」に焦点を当て、そのなかで取り上げられる様々なテーマを紹介します。そのなかでも、行政学Ⅰでは「公務員制度」や「予算制度」「地方自治」「官僚制」などに焦点を当てます。それらを通して、行政の役割や機能を認識し、行政に関する概念や理論、制度、課題等を理解することを目指します。

【選考方法】

抽選により決定

29 社会倫理 前期

【講師】	江崎 一朗
【日時】	4月15日～・毎週水曜日 1時限目（8:40～10:10）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 一般教養

テーマ「人生、いかに生きるべきか」

私たちは一体、何のために生きているのか。生きる目的は何なのか。生きる意味はどこにあるのか。愛とは何か。私たちにとって、これ以上に重要なことはありません。すべては、ここから始まります。これなしには、人生を生き抜くことはできません。多くの人々が、最期を迎えるに際し、後悔します、あれをやるべきであったと、あるいは何のために生まれてきたのかと。私たちは、何をなすべきでしょうか。それは、自らの人生を正面から受け止めることから始まります。共に考えましょう。

【テキストについて】

『増補新装版・共生の作法』（井上達夫、勁草書房／3,000円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

30 経営分析論 前期

【講師】	望月 信幸
【日時】	4月13日～・毎週月曜日 2時限目（10:20～11:50）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、財務諸表から企業の経営状態を把握する財務諸表分析を中心に講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析や SWOT 分析などを用いて学習する。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

31 ミクロ経済学 前期

【講師】	井田 貴志
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 3時限目（10:20～11:50）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 初級／専門

ミクロ経済学の範囲で、市場メカニズム（市場調整メカニズム・余剰分析）、消費者の効用最大化行動、生産者の利潤最大化行動に関する基礎理論である。数学的には微分を少し用いる。

【テキストについて】

『ミクロ経済学15講』（小野崎保・山口和男／共著、新世社／2,750円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師と E メールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

32 公共経済学 前期

【講師】	井田 貴志
【日時】	4月16日～・毎週木曜日 3時限目（12:50～14:20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円

【講義内容】 初級／専門

- ・市場と政府
- ・社会的意思決定
- ・価格規制
- ・税と社会保障
- ・公共財
- ・費用逓減産業
- ・税の余剰分析
- ・公債の中立命題

【テキストについて】

『私たちと公共経済』（寺井公子・肥前洋一【著】、有斐閣／2,000円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師と E メールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

講座概要（通年）

33 韓国語入門A I・II-b

通年

【講師】矢野 初美

【日時】4月10日～・毎週金曜日
1時限目（8:40～10:10）

【募集人数】若干名 【受講料】10,000円

【講義内容】初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音、単文や簡単な重文、また過去や尊敬の表し方等を講義します。

テキストにある問題を学生と一緒にやっていただきます。予習復習が必要です。

【テキストについて】

『マル韓国語』（韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

【注意事項】

講座番号：34『韓国語入門A I・II-c』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

35 ドイツ語発展I・II

通年

【講師】吉田 李佳

【日時】4月10日～・毎週金曜日
2時限目（10:20～11:50）

【募集人数】若干名 【受講料】10,000円

【講義内容】中級／一般教養

初級ドイツの知識を有していることを前提に、基礎的なドイツ語運用能力の向上をめざす。

【テキストについて】

『Spizel!2』（新倉真矢子ほか著、朝日出版社 /2,700円+税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

34 韓国語入門A I・II-c

通年

【講師】矢野 初美

【日時】4月16日～・毎週木曜日
1時限目（8:40～10:10）

【募集人数】若干名 【受講料】10,000円

【講義内容】初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音、単文や簡単な重文、また過去や尊敬の表し方等を講義します。

テキストにある問題を学生と一緒にやっていただきます。予習復習が必要です。

【テキストについて】

『マル韓国語』（韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200円+税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（100文字程度）により決定

【注意事項】

講座番号：33『韓国語入門A I・II-b』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

36 日中比較文学I・II

通年

【講師】項 青

【日時】4月10日～・毎週金曜日
2時限目（10:20～11:50）

【募集人数】若干名 【受講料】10,000円

【講義内容】専門

中国・朝鮮半島・日本及び東南アジアなどアジア漢字圏の龍母伝説を紹介するとともに、時として登場する“卵生”という要素に注目します。日本神話には卵生神話は存在しないと言われますが、浦島子伝や海幸山幸伝承等との比較を通じて、南方系漁撈民集団の始祖神話の影響を考察します。古文や漢文を読むことが多いため、ある程度の漢文や日本古典文学の知識が必要です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることができます。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

令和8年度(2026年度)熊本県立大学授業公開講座【前期・通年】申込書

熊本県立大学長様

申込日 令和 年 月 日

ふりがな				申込枚数 例：1枚目／全2枚	枚目／全 枚			
氏 名					枚目／全 枚			
生 年 月 日	西暦	年	月	日	歳	合計講座数	合計 講座	
住 所	〒 -							
電 話 番 号	- -			※日中ご連絡がつく電話番号をご記入ください				
Eメールアドレス	@							
受 講 歴	今回が初めて受講する・対面で受講したことがある・オンラインで受講したことがある							
講 座 を 知 つ た き つ か け	Webサイト（県大・地域ラブラトリー）・大学からの案内 パンフレット（場所： ）・知人からの紹介 掲示ポスター（大学・コミュニティボード・バス車内・JR駅構内・その他）						今後のイベント・講座の案内	
							希望する・希望しない	

受講希望講座

※裏面の注意事項をご確認後、を入れてください

裏面の注意事項を確認しました

※大学記入欄

受付日

受付方法 郵・持 □

〈申込みにあたっての注意事項〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、お支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 お申込みの際にご提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。

施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



① 図書館

専門書を中心に約38万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1~3階の開架書庫・閲覧スペースには360の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平日 8:40~21:40 (夏季休業日 8:40~20:40)

土曜日 8:40~19:00 (夏季休業日 8:40~18:00)

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始等

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

② 熊本県立大学アーカイブ (図書館2階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、女子大当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



学生食堂 (大学会館内)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。
(11:00~13:45ごろ)

書店・売店 (大学会館2階)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。



地域・研究連携センターについて



熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム (Continuing Professional Development 繼続的専門職能開発) など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

学内配置図

グローカル棟 1 階
地域・研究連携センター
Tel 096-321-6612



県大と地域をつなぐwebサイト

新しい情報を更新中！

授業以外の大学の活動を紹介しています。
あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。



<https://puk-loveratory.com>

地域ラブラトリー





お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター(グローカル棟1階)
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096(321)6612
E-Mail renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

